

科目名	心理検査法 I	
担当者	◎石井利文/飯干紀代子/石井佳世/大島英世/白井祐浩/松本宏明/山喜高秀	
科目情報	心理臨床<基礎> / 必修 / 前期 / 実習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	心理検査法 I では、心理検査の基礎として、質問紙法や投影法、知能検査等の中で最も頻用されている検査の特徴や実施方法、解釈について学ぶ。なお、オリエンテーションと心理アセスメント概説の講義の後、3回目以降は2つの組に分かれ、並行して進めていく。組分けと各組の実習スケジュールは、第1回目のオリエンテーション時に配布する。
	到達目標	各心理検査の特徴や実施方法、解釈についての基礎的な知識を得ることができる。
授業計画	(1) オリエンテーション (2) 心理アセスメント概説 (3) クレペリン (4) TEG-II (5) WAIS-III ① (6) WAIS-III ② (7) WAIS-III ③ (8) WAIS-III ④ (9) バウム・テスト (10) Y-G性格検査 (11) MMPI ① (12) MMPI ② (13) 長谷川式認知症スケール (14) SCT (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・各検査法について下調べをしておくこと。
	事後学習	・学習した内容を必ず復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】各心理検査用具およびマニュアルを使用し、必要に応じてレジメを配布する。	
成績評価方法と基準	<基準> 各心理検査の特徴や実施方法、解釈について理解しているものを合格とする。 <方法> 心理検査ごとにレポートを提出する。受講態度 (30点) と各検査のレポート (70点) で評価する。授業に出席せずにレポートを提出した場合は評価の対象としない。	
備考	実習の性質上、遅刻者は不利益を被ることになり、また他の受講生の迷惑になるため、遅刻は厳に慎むこと。	